

特集 1 中部山岳国立公園・園の紹介

中部山岳国立公園

指定：昭和9年12月4日
面積：174,323ha

中部山岳国立公園は、新潟県、富山県、長野県、岐阜県の4県にまたがる国立公園で、北アルプスと呼ばれている地域です。

富山湾

❖ 妙高高原地域 ❖



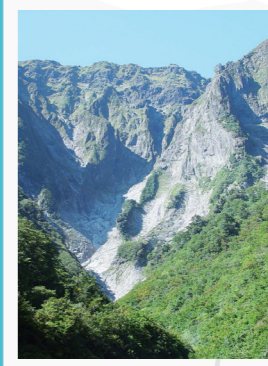
冬は真っ白な山容を見せる火打山や端正な姿をした妙高山を中心とした地域で、冬季はスキーで賑わっています。
山麓には温泉街が広がっているため温泉巡りを楽しむことができる他、火打山の高層湿原では多くの高山植物を見ることができます。
また、いもり池にある妙高高原ビジターセンターでは、自然観察会が行われています。

❖ 志賀高原地域 ❖



スキー場として有名な志賀高原ですが、火山活動により形成された山上湖や高層湿原、亜高山帯針葉樹林やカヤノ平のブナの森など等の原生的な自然も魅力的で、トレッキングを楽しむことができます。
また、石の湯は日本一標高が高いゲンジボタル生息地として有名です。

❖ 谷川・苗場地域 ❖



新潟県、長野県、群馬県の3県にまたがる山深い地域で、日本三大峡谷の一つである清津峡をはじめ、優美な峡谷や滝を見ることができます。
苗場山麓には多くのスキー場がありますが、その山頂には高層湿原があり、登山客も多く訪れています。
また、ロッククライミングのメッカである谷川岳のある地域です。

❖ 後立山地域 ❖



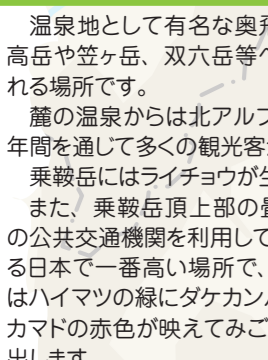
北は朝日岳から南は三俣蓮華岳に至る新潟県・長野県側の地域で、白馬岳・唐松岳・針ノ木岳等の3,000m近い高峰からなる山岳景観がすばらしい地域です。
白馬岳の高山植物帯は北アルプスで最も高山植物の種類が多く、多くの登山者が訪れています。梅池自然園や八方尾根には歩道が整備されており、ゴンドラやリフトなどの乗り物を利用して手軽に散策や自然観察を楽しむことができます。

❖ 立山地域 ❖



朝日岳から三俣蓮華岳に至る富山県側の地域で、立山(雄山)が代表するように古くから山岳信仰として登山が盛んな地域です。
剣岳の岩稜や弥陀ヶ原の池塘、室堂の地獄谷等、多様な自然を有しています。
また、登山の他にも、立山黒部アルペンルート、黒部峡谷鉄道の利用により一般の観光客でも高山の自然を楽しむことができます。

❖ 飛騨地域 ❖



温泉地として有名な奥飛騨ですが、穂高岳や笠ヶ岳、双六岳等への登山者も訪れる場所です。
麓の温泉からは北アルプスを一望でき、年間を通じて多くの観光客が訪れます。
乗鞍岳にはライチョウが生息しています。
また、乗鞍岳頂上部の豊平はバスなどの公共交通機関を利用して登ることができる日本で一番高い場所で、紅葉の時期にはハイマツの緑にダケカンパの黄色、ナナカマドの赤色が映えてみごとな景観を作り出します。

❖ 乗鞍地域 ❖



乗鞍岳を中心に、その裾野の乗鞍高原からなる地域です。乗鞍高原はシラカバの林に囲まれた広大な草原に、スズラン・レンゲツツジ等の花々が群生し、点在する池にもミズバショウ等の湿地の植物が咲き乱れます。
中でも牛留池は、ルリイトトンボやモリアオガエルの生息地としても知られています。
また、自然探勝のための園路やキャンプ場が整備されているため、多くの観光客がハイキングなどを楽しんでいます。

中部山岳国立公園

富山県

上信越高原国立公園

長野県

群馬県

新潟県

❖ 戸隠地域 ❖

急峻な岩壁を形成している戸隠連峰、信濃富士とも呼ばれる黒姫山や飯縄山とその麓の高原からなる地域で、ナウマン象で有名な野尻湖も有しています。
戸隠山は古くから信仰の山として崇められており、その麓は神社の門前町として栄えた名残が今でも残っています。



❖ 菅平地域 ❖

百名山でもある四阿山と根子岳の広大な裾野から成る地域で、夏でも冷涼な気候からラグビーやマラソンなどの合宿やテニス、冬にはスキーなどの多種多様なスポーツが盛んに行われています。

❖ 上高地地域 ❖



槍ヶ岳、穂高連峰に囲まれた梓川から成る渓谷美が有名な上高地は日本を代表する景勝地です。
日本の近代登山の先駆けとなった場所ですが、登山者ばかりではなく、上高地そのものの自然を楽しむに多くの観光客が訪れています。
ビジターセンターや公衆トイレの整備、また、ここではマイカー規制も行っており、公園利用の適正化にも努めています。

❖ 草津・万座地域 ❖

今なお火山活動を続けている草津白根山を中心とした地域で、エメラルドグリーンの水を湛える湯釜が印象的です。山頂近くまで車道が通っているため、多くの観光客が訪れています。
また、コマクサをはじめとした高山植物が多く咲く場所でもあります。草津温泉、万座温泉や四万温泉などといった出湯巡りも楽しむことができます。



❖ 浅間地域 ❖

活火山である浅間山とその火山活動により形成されたダイナミックな景観を楽しむことができる地域です。山麓の軽井沢は古くから避暑地として親しまれてきました。
鹿沢温泉内にある鹿沢インフォメーションセンター周辺の自然学習歩道では散策やトレッキングを楽しむことができます。



上信越高原国立公園

指定：昭和24年9月7日
(妙高高原・戸隠地域編入
昭和31年7月10日)
面積：188,046ha

上信越高原国立公園は、群馬県、長野県、新潟県の3県にまたがる国立公園で、日本で二番目の広さを誇ります。